

第8回 蒲田駅西口駅前広場検討部会 資料

蒲田駅西口駅前広場再整備計画

	頁
1 第7回検討部会で決定した整備方針.....	1
2 各施設の整備計画.....	2
3 計画平面図	7
4 完成予想図	8



平成 27 年 12 月 18 日(金)

1 第7回検討部会で決定した整備方針（基本的な考え方）

(1) 照明施設

■照明施設の整備方針

- デザイン基本プランにおける照明配置計画に基づき新設照明を設置すると共に、既存の商店会街路灯も活用する。
- 照明の設置基準の示す数値（照度 20lx、輝度 0.7cd/m²）を確保しつつ、街並みと調和するシンプルなデザインの照明柱とする。



● 歩車道照明イメージ ● 歩道照明イメージ ■ シンボル照明イメージ ◆ 商店会街路灯

(2) 交通安全施設

■交通安全施設の整備方針

- 歩行者横断防止柵は、交通事故、歩行者の乱横断防止として設置する方針とした。
- 車止めは、イベント時に広場を往来する人々の通行を阻害しないように地下に収納できるタイプとし、空間を有効活用する工夫を行う。
- デザインは街並みと調和するシンプルなデザインとする。



図1 歩行者横断防止柵

図2 車止め

(3) 植栽

■植栽の整備方針

- デザイン基本プランを基に、交通安全面や景観面に考慮し、配置計画の見直しを行った。
- アイストップツリーは、花が咲き、葉色が紅葉することで、季節感を感じられる樹木とする。



【新設】アイストップツリー

(4) 歩道形式

■歩道形式の整備方針

- 【一般部】歩車道の段差を小さくしつつ、車道と歩道をブロックで区分し、安全に配慮する。
- 【広場南側部】イベント時に人が自由に往来できるように、車道と歩道の段差を小さくする。



一般部 事例(旧逆川道路) 広場南側部 事例(山口県内)

(5) その他

■その他の整備方針

- 樹木の陰を利用して、短時間休憩できるベンチを配置する。
- 広場のシンボルとなる施設を交通島に設置する。



休憩施設

時計塔+防災無線

シンボル照明

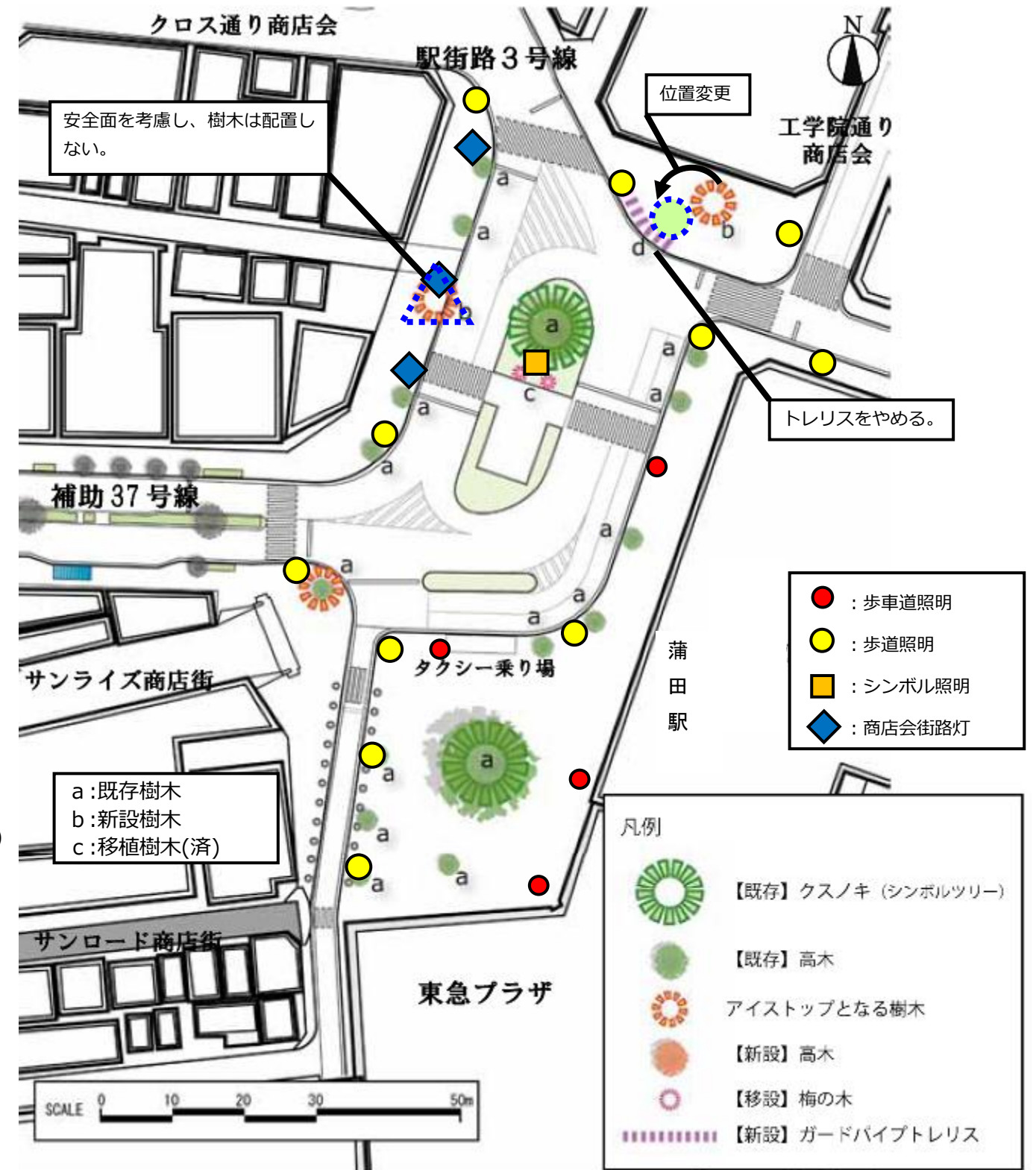


図 照明・植栽配置図

2 各施設の整備計画（具体的な計画内容）

(1) 照明施設

① 整備計画

- 1) 広場全体の平均照度を 25lx 確保することで現状より明るくし、歩行者動線に沿った位置に歩道照明を配置する（駅側）。
- 2) 照明の色は、駅前の多様な照明の色と重複しないように電球色で統一し、落ち着いた出迎えの空間を創出する。また、すっきりした広場の景観とするため、街路灯は極力少なくなるよう配置する。

② 照明器具等

- 1) 車道部は歩車道兼用の2灯式、交通島には既存クスノキ足元の暗がり进行明るくするためローポール灯、広場南側のクスノキ足元に景観を演出するアッパーライトを設置する。
- 2) 照明器具は歩いている人に眩しさを感じさせないよう、また足元を照らす下向き配光の器具とする。

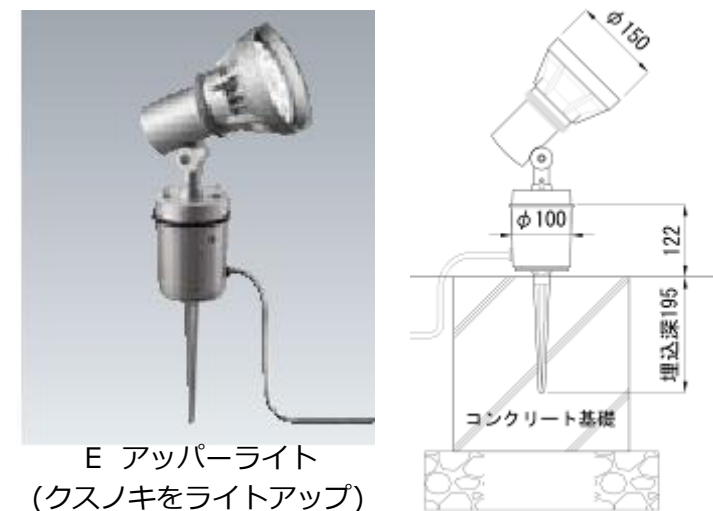


A 車道照明 高さ：車道 8.0m
 B 歩車道照明 高さ：歩道 4.5m 車道 8.0m
 C 歩道照明 高さ：5.0m

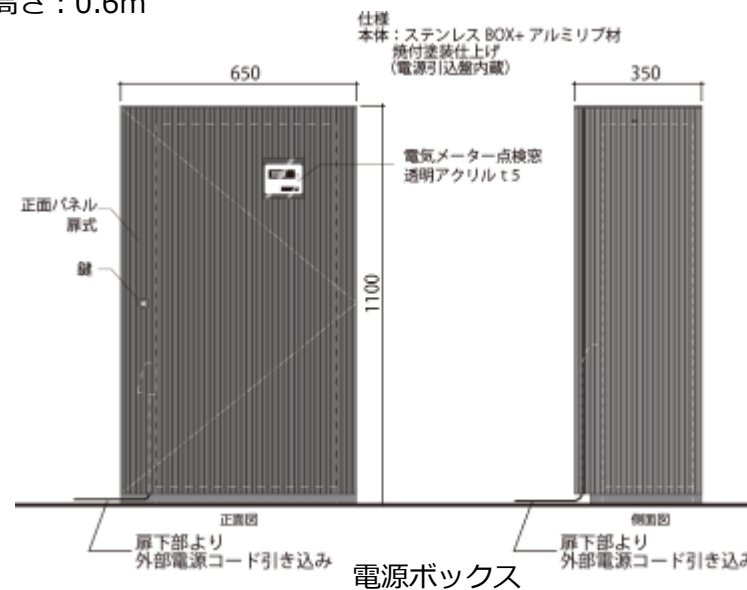
D ローポール 高さ：0.6m



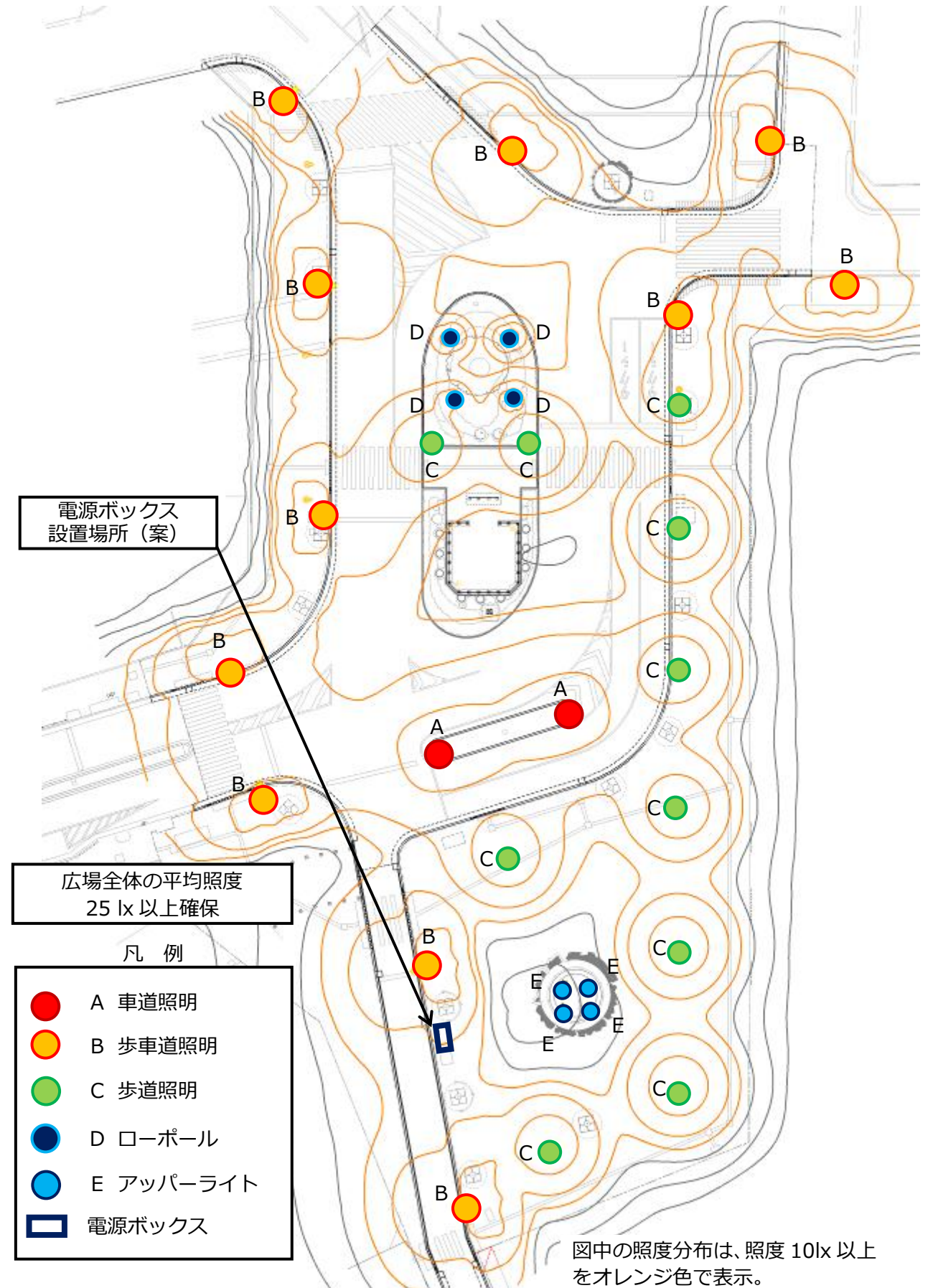
照明色（電球色）のイメージ



E アッパーライト (クスノキをライトアップ)



電源ボックス



2 各施設の整備計画（具体的な計画内容）

（2）植栽

① 整備計画

- 1) アイスストップツリーは、幅員の広い北側歩道部の景観ポイントとするため、北から駅に向かう歩行者動線を阻害しない位置に1本植栽する。
- 2) 駅前の南側広場をフラット化させるため、シンボルツリーである既存クスノキの設置高さを可能な限り下げる。
- 3) 植樹柵の既存の高木は、道路の整備計画を考慮しながら可能な限り植栽柵蓋をかけ、歩道空間の拡大を図る。

② 樹種（アイスストップツリー）

- ・アイスストップツリーの樹種は、7月～10月に花が咲き、葉が紅葉して季節感が感じられるサルスベリとする。



図 サルスベリの植樹イメージ



図 サルスベリの花

③ 植栽柵・植樹柵蓋

- 1) 広場南側のクスノキは、成長した樹木の根を保護土の流出を防ぐため高さ15cmの植栽柵で囲う計画とする。
- 2) 高木には、足元を保護するモダンでシンプルな铸铁製の柵蓋を設ける。
- 3) 柵蓋は、滑りにくく車いすやハイヒールも安心して通れる細いスリットタイプ（幅7.5mm）とする。

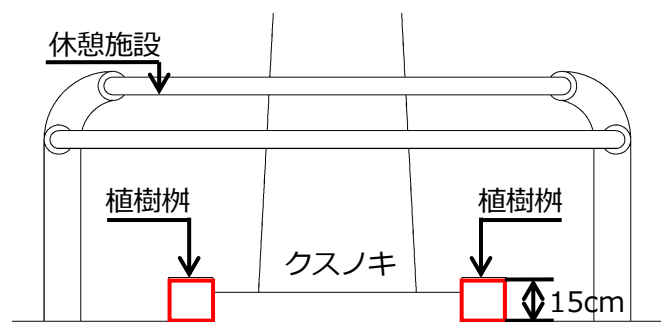


図 南側広場クスノキ部の植樹柵（断面図）

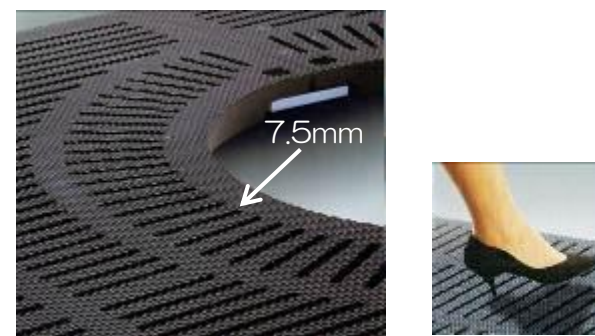
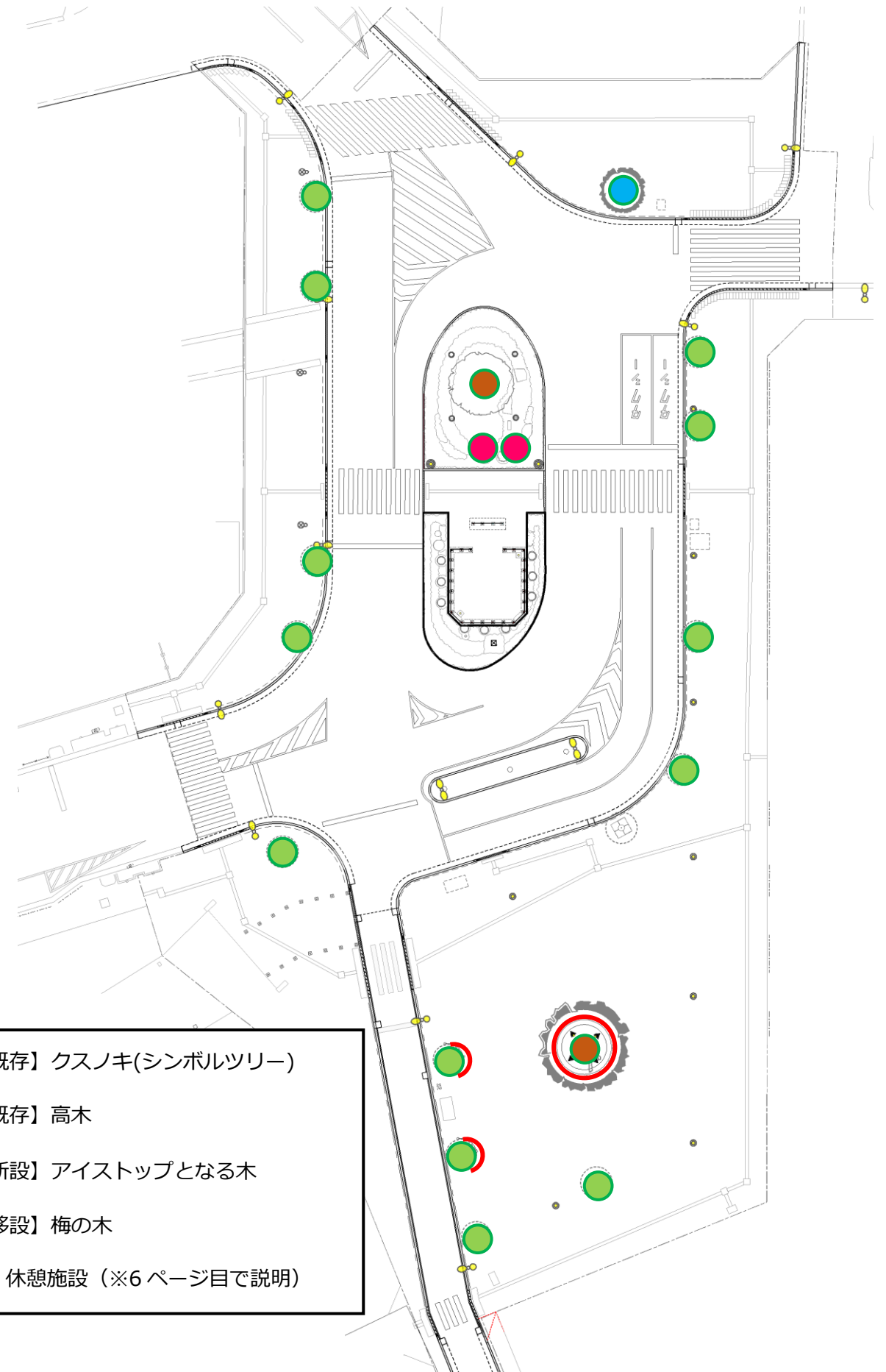


図 細いスリットタイプの柵蓋

凡例

- 【既存】クスノキ(シンボルツリー)
- 【既存】高木
- 【新設】アイスストップとなる木
- 【移設】梅の木
-) 休憩施設（※6ページ目で説明）



2 各施設の整備計画（具体的な計画内容）

（3）交通安全施設・排水施設

① 整備計画

- 1) 駅前ロータリーには歩行者横断防止柵を、広場南側、アーケード出入口部には車止めを設置する。
- 2) 車止めは歩行者横断防止柵と同じデザインとし、車両の通過や乗上げを防止できる間隔で設置する。
- 3) 広場南側道路の排水施設は円形側溝（細目スリット蓋を採用）とし、駅前ロータリーは街きよ（歩道止石）を設置する。

② 歩行者用横断防止柵・車止め

- 1) 歩行者横断防止柵は、駅前のモダンな街並みと調和する、シンプルでグレード感のあるデザインとする。色彩はシックなダークグレー系で統一する。支柱間隔は2.0mとして設置する。
- 2) 車止めは、歩行者横断防止柵の支柱と同じデザインとし、車椅子の通行に支障がなく車両の乗入等を防止するよう2.0m間隔で設置する。



図 歩行者用横断防止柵

図 車止め

③ 排水施設

- ・南側道路に設置する側溝は、歩行者の通行性、維持管理性および駅前広場の景観性に配慮し、細目スリット蓋の付いた円形側溝とする。

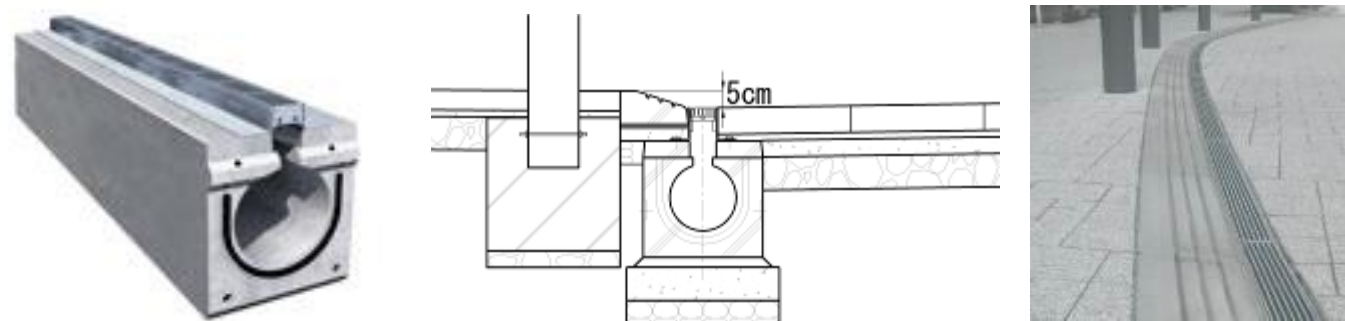
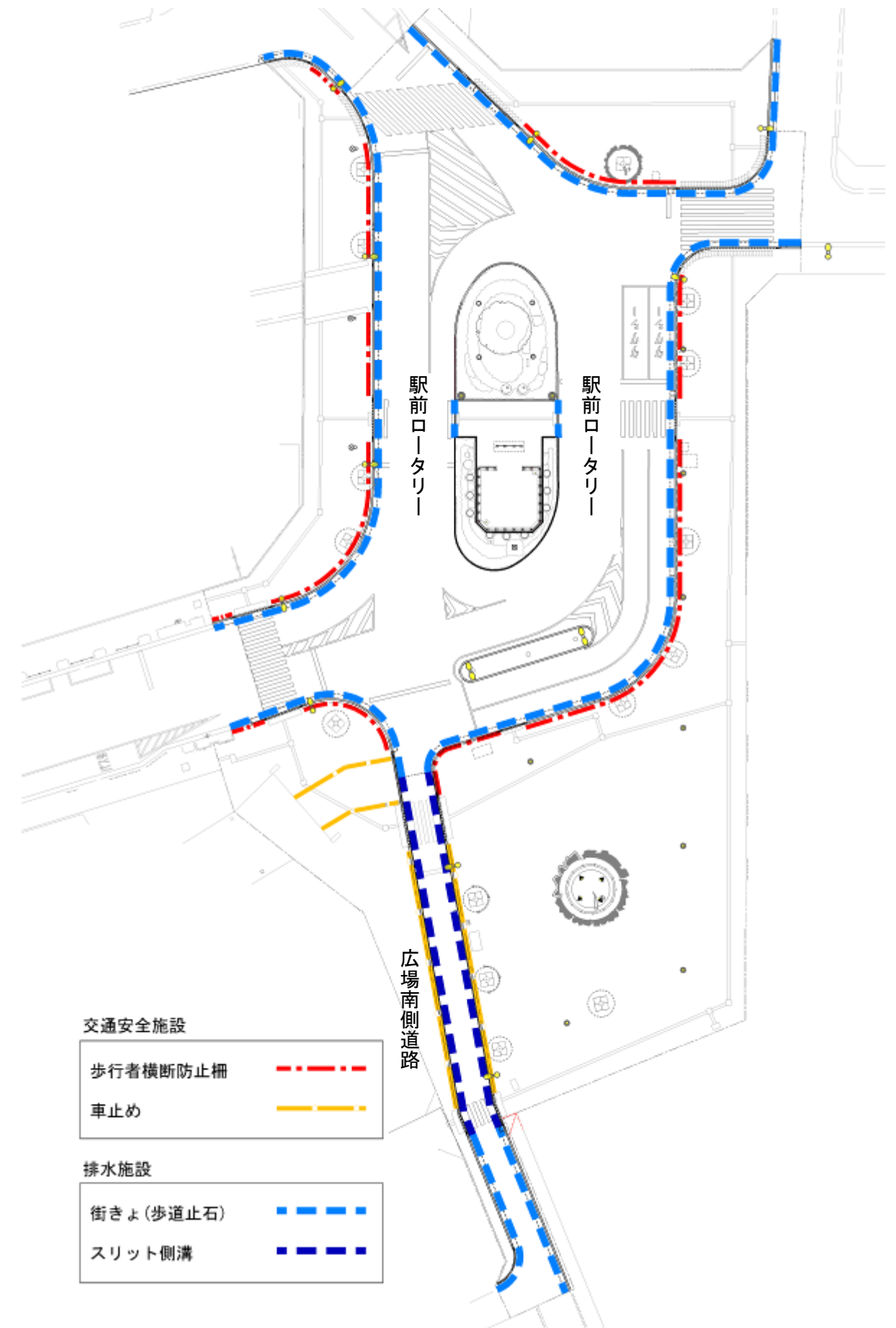


図 円形側溝
(細めスリット蓋)

図 円形側溝断面図

図 設置イメージ



2 各施設の整備計画（具体的な計画内容）

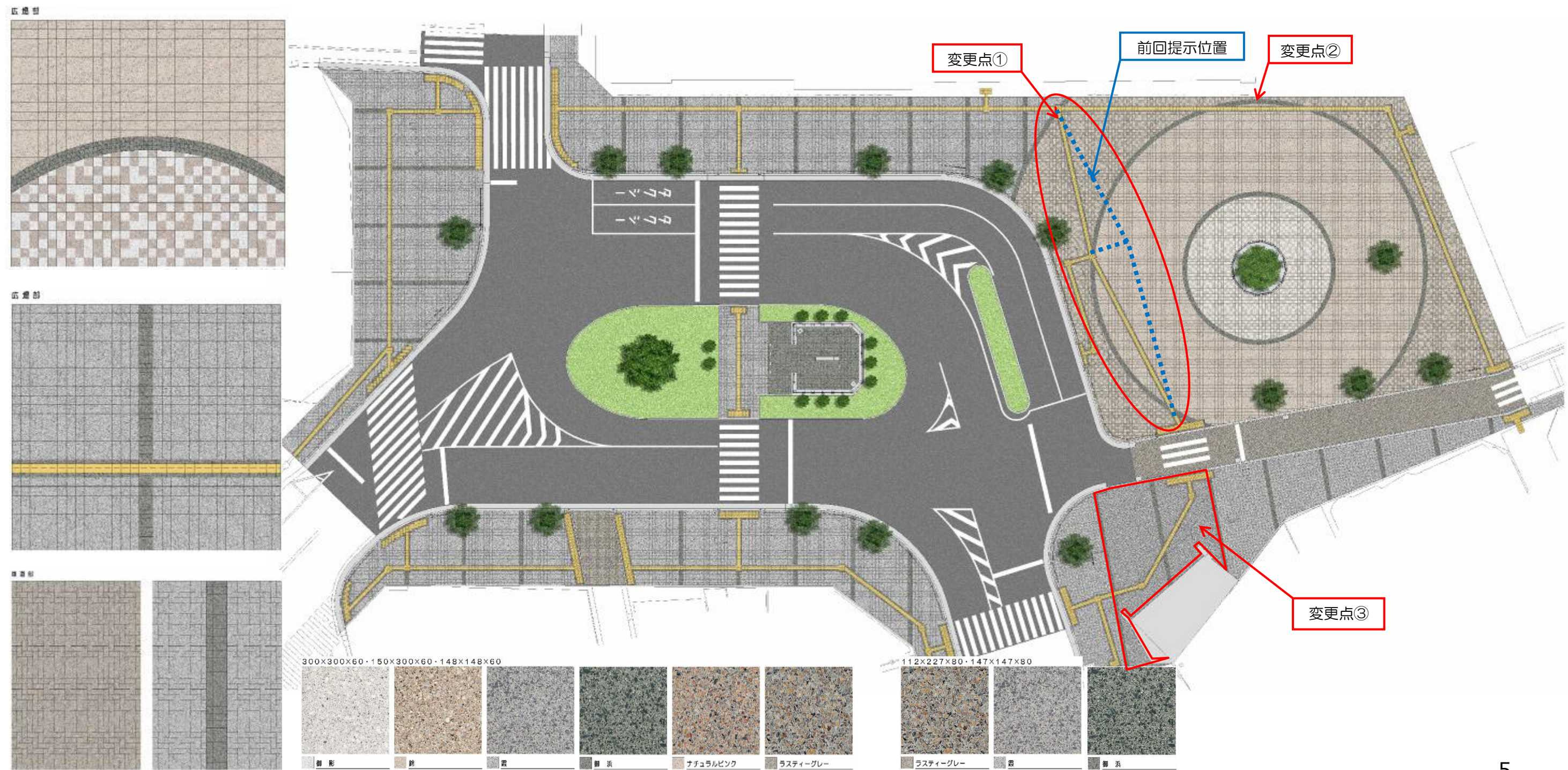
（4）舗装・歩道形式

① 整備計画

変更点①：広場のイベント利用時や歩行者の動線に配慮し誘導ブロックの位置を変更。

変更点②：広場の中に円形がおさまるよう、大きさを一回り小さく変更。

変更点③：車両往来のため車両対応のブロックに変更。（寸法：30cm角⇒10cm×20cm 厚さ：6cm → 8cm）



2 各施設の整備計画（具体的な計画内容）

（5）その他

① 整備計画

- 1) 広場南側のシンボルツリーの周りには、待ち合わせや緑陰での休憩場所とするため、休憩施設を設置する。
広場北側、広場西側のシンボルツリーの周囲には、歩行者の通行を阻害しないよう休憩施設は設置しない。
- 2) 既存の防災無線塔の周りには、時計とLED 掲示板の機能を持つシンボル施設を設置する。

② 休憩施設

- 1) 植樹足元の植栽地を保護すると共に、景観ポイントとなるようなサポーターベンチを設置する。
- 2) 美観と耐久性・汚れにくさに配慮したステンレスの鏡面と明るいシルバー塗装のデザインとする。



図 設置イメージ

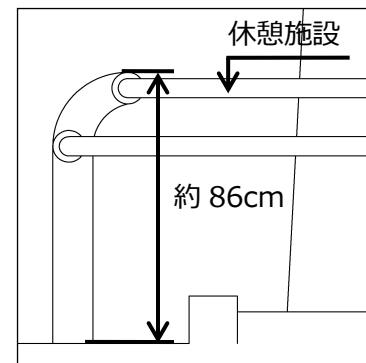


図 断面図

③ シンボル施設（時計塔 + 防災無線）

- ・インフォメーション及び時計表示が見えやすいよう下部はシックなデザインとし、上部は光を反射する繊細なデザインとし、夜間はライトアップ器具によって出迎えの明かりを演出する。

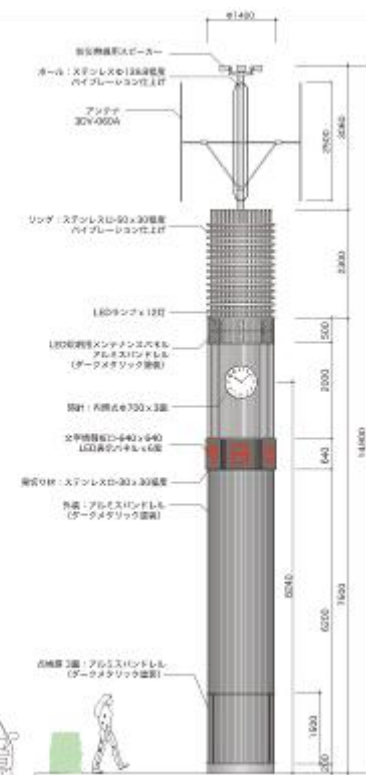


図 時計塔+防災無線のデザイン案

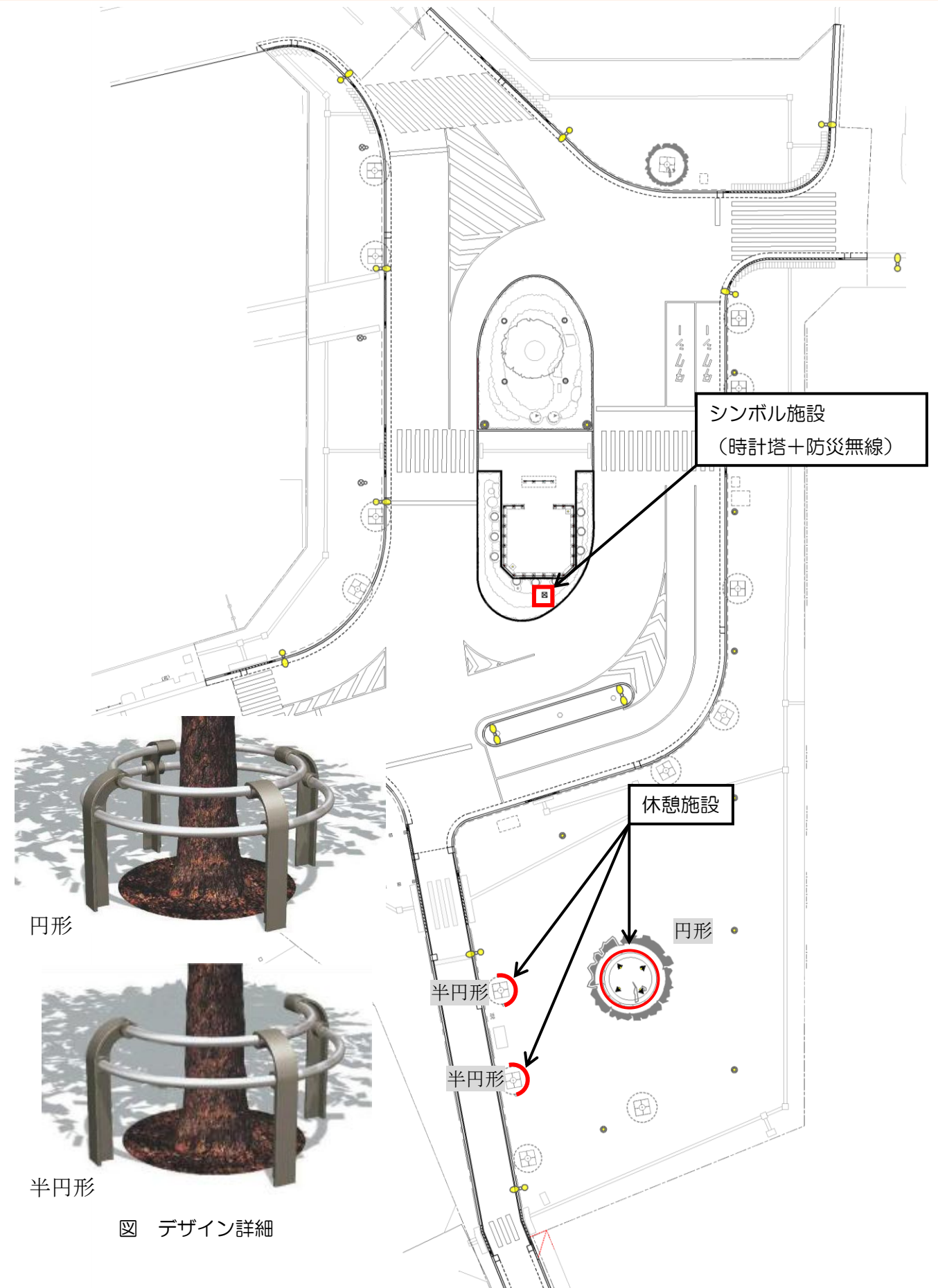
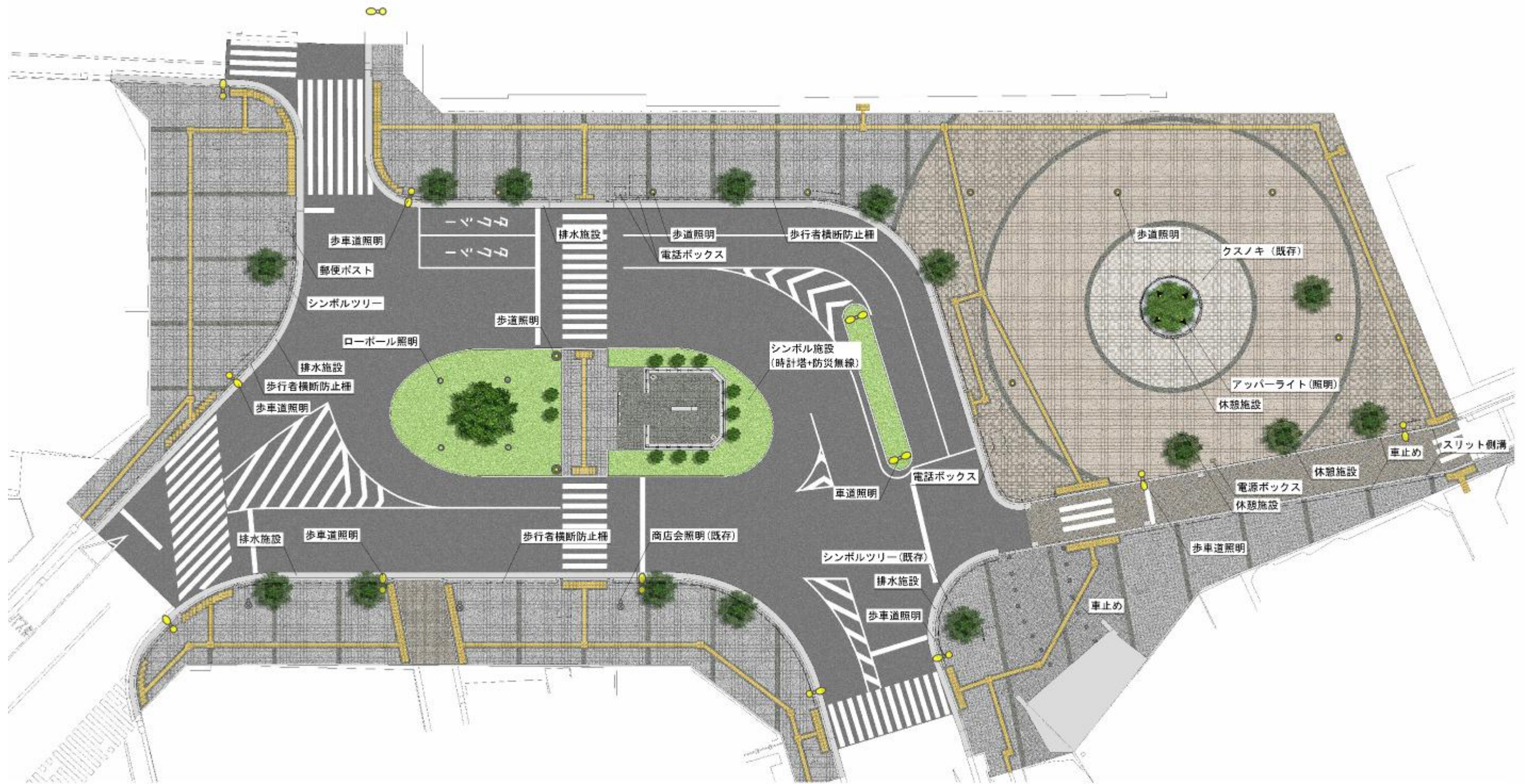


図 デザイン詳細

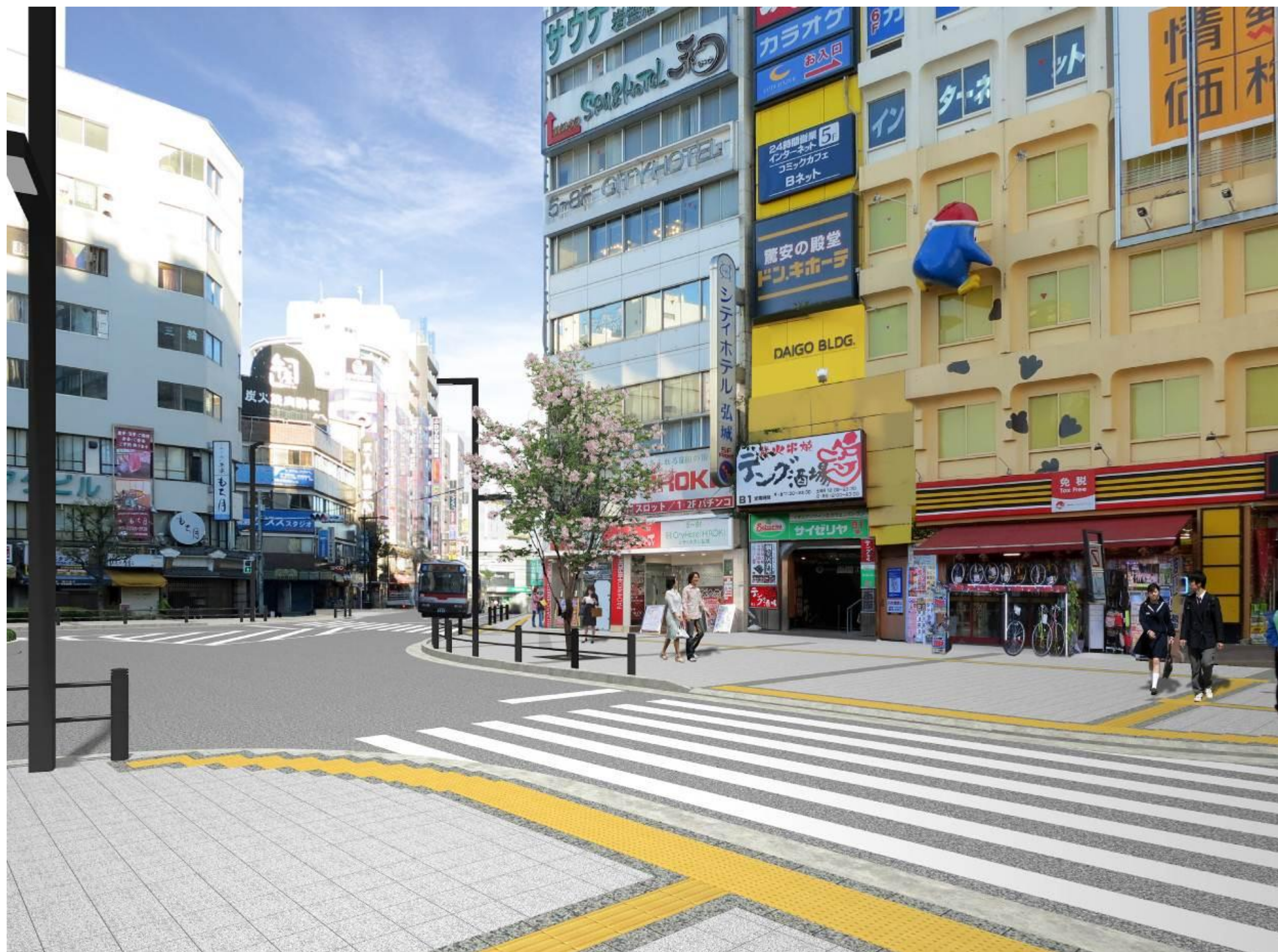
3 計画平面図



4 完成予想図



4 完成予想図



4 完成予想図



4 完成予想図

